

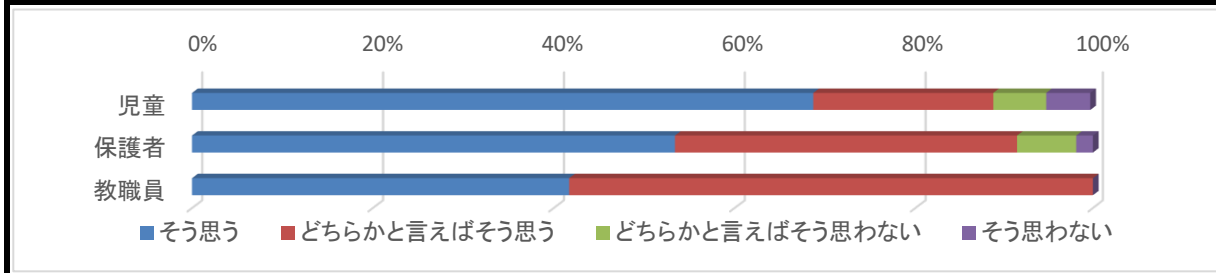
令和5年 鷹岡小学校 前期 学校評価まとめ

1 学校生活全般について

①【保護者】【教職員】子供は、学校に楽しく通っている。
【児童】学校は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	69%	20%	6%	5%
保護者	53%	38%	7%	2%
教職員	42%	58%	0%	0%

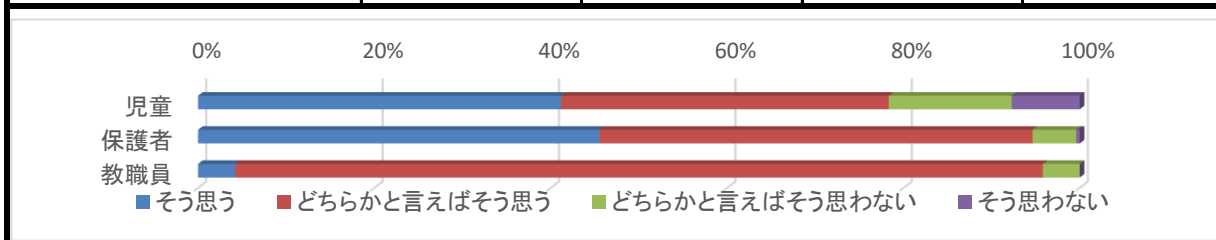
###



②【保護者】【教職員】子供は、自分にはよいところがあると思っている。
【児童】自分には、よいところがあると思う。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	41%	37%	14%	8%
保護者	46%	49%	5%	0%
教職員	4%	92%	4%	0%

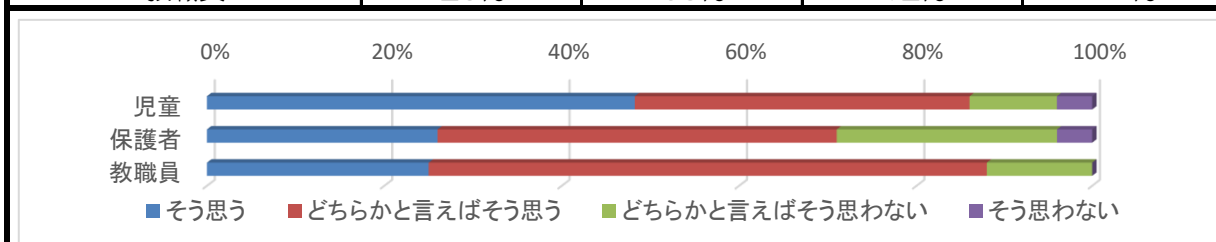
###



③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで学習や運動をしようとしている。
【児童】進んで、勉強や運動をしている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	48%	38%	10%	4%
保護者	26%	45%	25%	4%
教職員	25%	63%	12%	0%

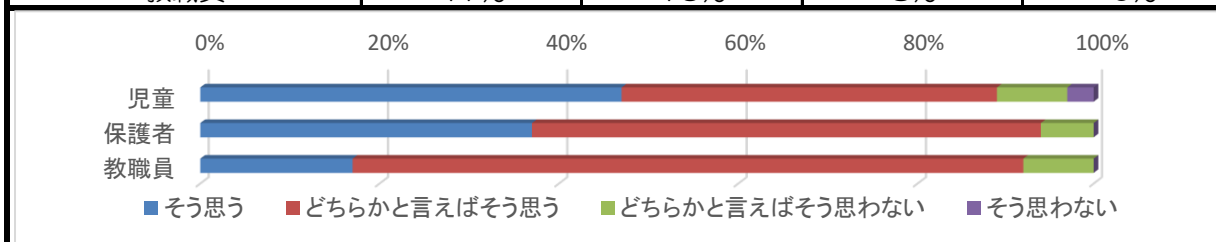
###



④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声を掛けたりすることができる。
【児童】友達の気持ちを考えて、優しく言葉を掛けたりすることができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	47%	42%	8%	3%
保護者	37%	57%	6%	0%
教職員	17%	75%	8%	0%

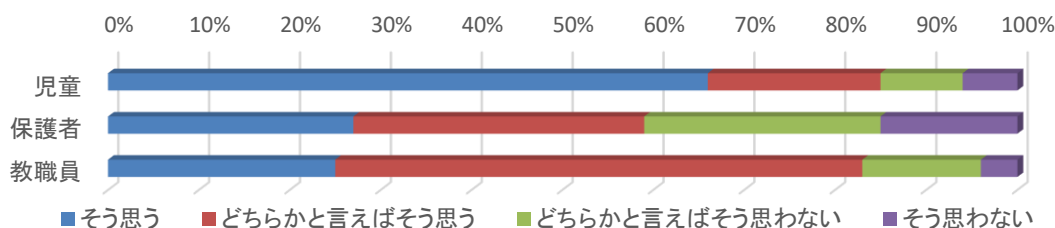
###



⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
【児童】読書は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	66%	19%	9%	6%
保護者	27%	32%	26%	15%
教職員	25%	58%	13%	4%

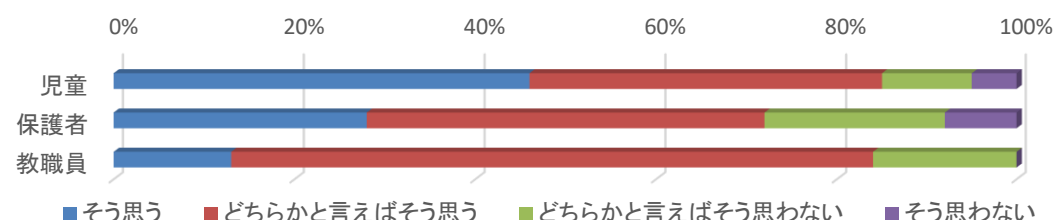
###



⑥【保護者】【教職員】子供は、家庭学習を工夫して頑張っている。
【児童】家での学習を工夫して頑張っている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	46%	39%	10%	5%
保護者	28%	44%	20%	8%
教職員	13%	71%	16%	0%

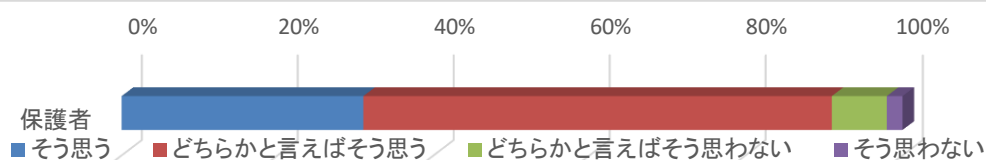
###



⑦【保護者】鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
保護者	31%	60%	7%	2%

###



〈考察〉

設問①「学校は楽しい（子供は、学校は楽しいと思っている）」の肯定的な回答（そう思う・どちらかというとなんかそう思う）が、昨年度に比べ児童は5%ほど上昇しました。また、保護者・教職員もそれぞれ高い結果を示しています。設問⑦「鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。」についても、90%を超える高い評価をいただいています。今年度は、新型コロナウイルスによる制限も緩和され、本来あるべき学校生活を子供たちが送ることができていることがその要因かもしれません。子供たちが「学校が楽しい」と思ってくれることが教職員にとっては最もうれしいことです。今後も、鷹岡小学校が子供たちや、保護者の皆様にとって安心して任せることのできる楽しい学校であり続けられるよう努力してまいります。

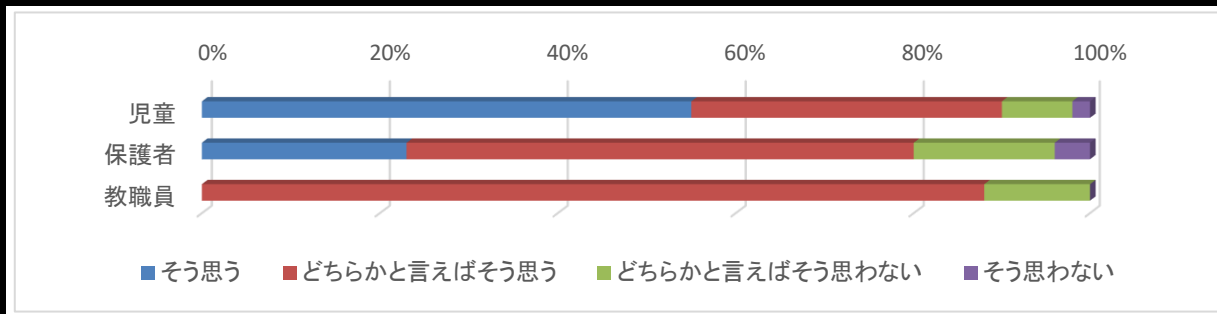
本校で一昨年からの課題として捉えている設問②「自分には、よいところがある」の回答については、肯定的な回答をした児童の割合が昨年度より9%増え79%となりました。今年度は重点目標「自分を、仲間を大切にすること」とし、一人一人の子供を大切に、よいところを認め合う学級の雰囲気づくりや優しい声掛けを学校全体で意識していることが上昇の要因かもしれません。ただ、高学年に上がるにつれ数値が下がっている現状も見られるという現状もあるため、今後も全校のどの児童も自己肯定感を高められるよう引き続き、支援していきます。

2 学習面について

⑧【保護者】【教職員】子供は、授業で勉強したことが分かっている。
【児童】授業で学習したことがわかる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	55%	35%	8%	2%
保護者	23%	57%	16%	4%
教職員	0%	88%	12%	0%

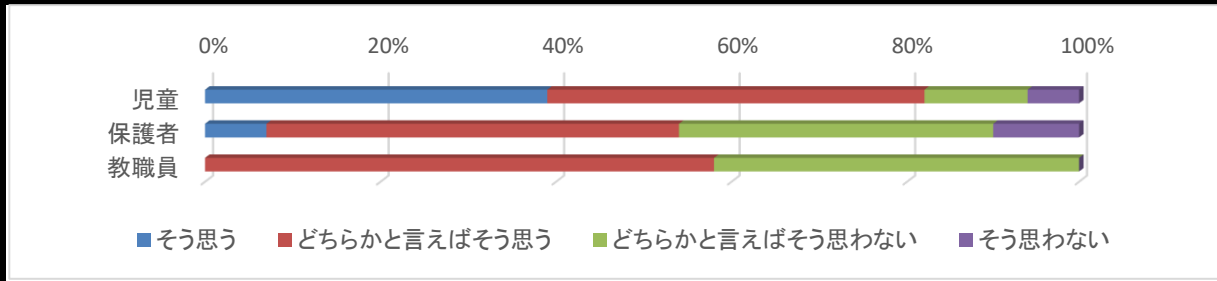
###



⑨【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児童】授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	39%	43%	12%	6%
保護者	7%	47%	36%	10%
教職員	0%	58%	42%	0%

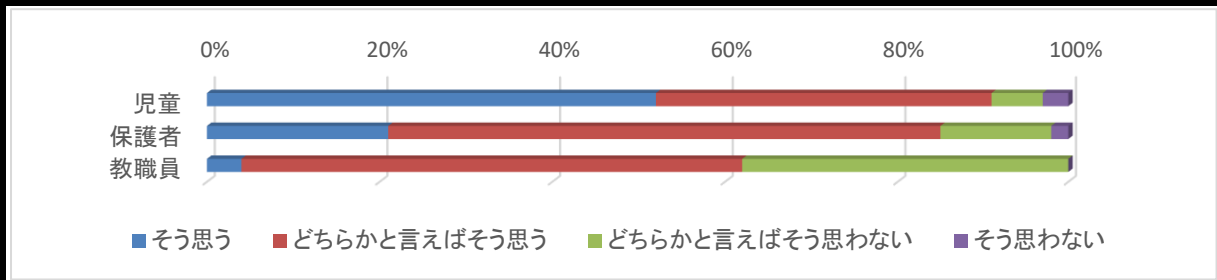
###



⑩【保護者】【教職員】子供は、相手の話に心を傾けて聴くことができている。
【児童】友達や先生の話に心を傾けて聴いている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	52%	39%	6%	3%
保護者	21%	64%	13%	2%
教職員	4%	58%	38%	0%

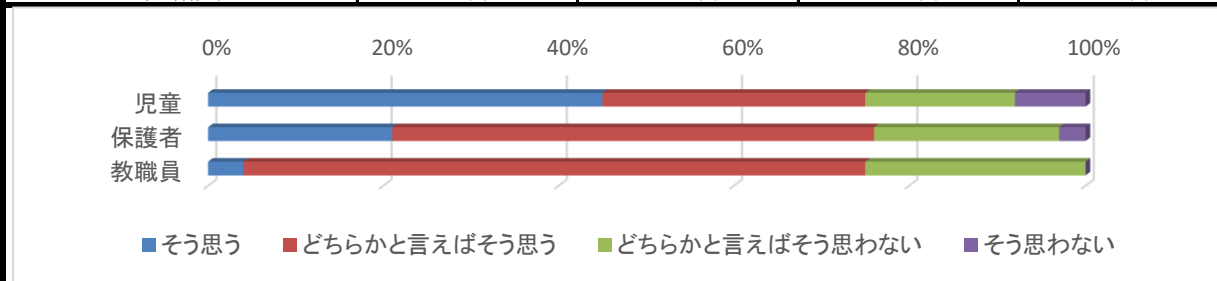
###



⑪【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
【児童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	45%	30%	17%	8%
保護者	21%	55%	21%	3%
教職員	4%	71%	25%	0%

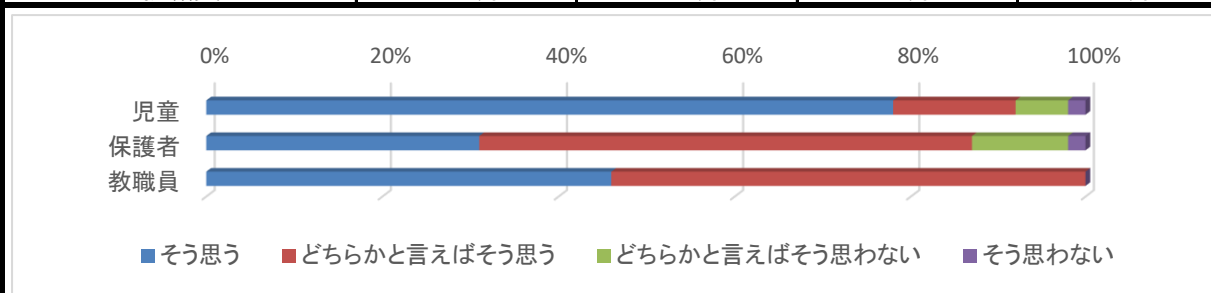
###



⑫【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
 【児童】友達と一緒に勉強することは楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	78%	14%	6%	2%
保護者	31%	56%	11%	2%
教職員	46%	54%	0%	0%

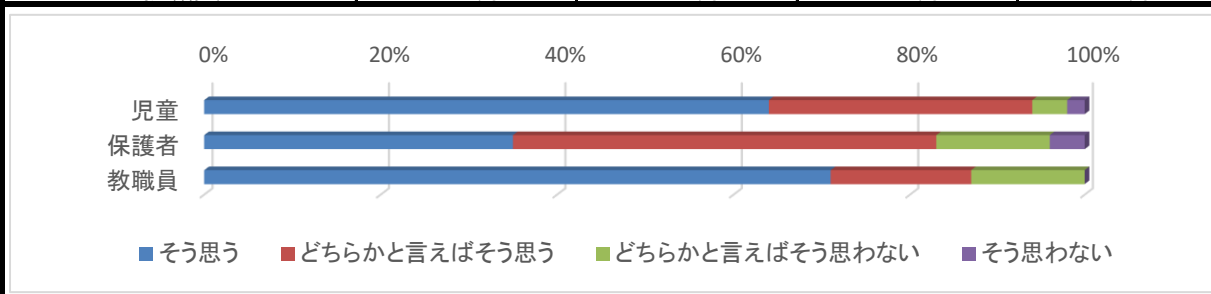
 ###
 ###



⑬【教職員】【保護者】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
 【児童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	64%	30%	4%	2%
保護者	35%	48%	13%	4%
教職員	71%	16%	13%	0%

 ###
 ###



〈考 察〉

設問⑧の「授業で学習したことが分かっている」の子供たちの肯定的な回答の割合は90%となり、昨年度を上回りました。いろいろな要因はあると思いますが、その一つとして、タブレットの授業における積極的な活用があると思います。一人一台タブレットは導入されて3年目に入り、子供たちは授業の多くの場面でタブレットを活用した学習を行っています。設問⑬では、肯定的な回答をした子供たちの割合が94%と昨年度よりもさらに増えました。従来の授業に加え、タブレットが授業で普通に活用されるようになったことにより、子供たちの学びの形は多様になり、授業の幅も広がってきています。子供たちが自分自身で、より良い解決法を考え、自分なりの方法で学習を進める個別最適な学びを実現する姿も見られてきています。

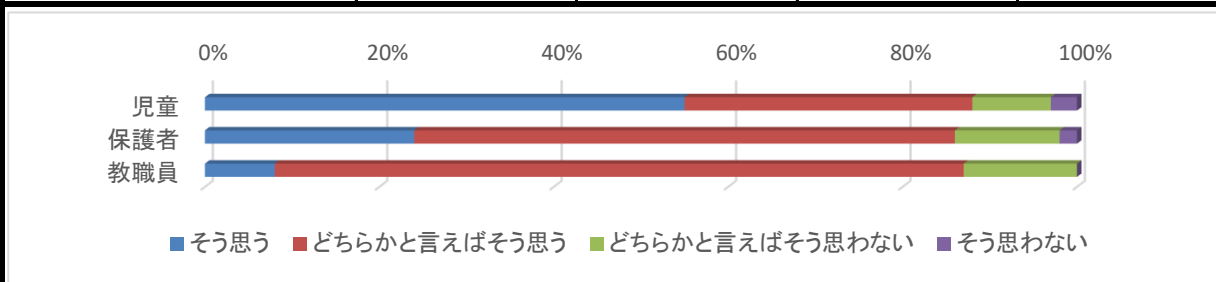
設問⑨の「課題を見つけて粘り強く解決しようとしている」、設問⑩「相手の話に心を傾けて聴くことができている」については、昨年度同様に児童と保護者・教職員の評価に差が見られました。特に、設問⑨については、今後子供たちが生きていく社会において、自ら課題を見付け解決する力は大切な要素の一つです。今後、授業を通して意識して支援を続けていきます。

3 学校教育活動について

⑭【保護者】【教職員】子供は、「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。
 【児童】「自分を、仲間を大切にする子」を意識して生活している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	55%	33%	9%	3%
保護者	24%	62%	12%	2%
教職員	8%	79%	13%	0%

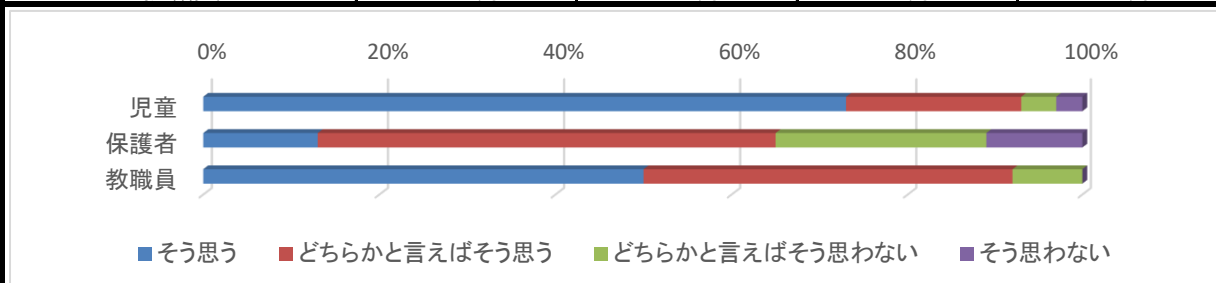
###



⑮【保護者】【教職員】学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
 【児童】先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	73%	20%	4%	3%
保護者	13%	52%	24%	11%
教職員	50%	42%	8%	0%

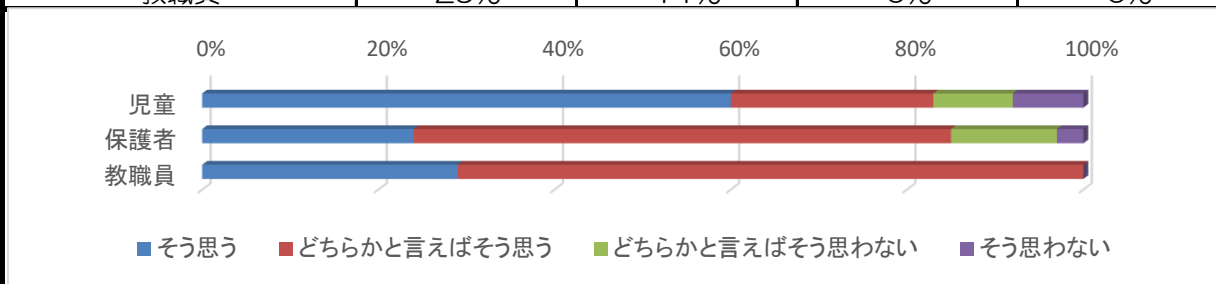
###



⑯【保護者】【教職員】お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。(情報提供できている。)
 【児童】学校のことを、家でよく話す。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	60%	23%	9%	8%
保護者	24%	61%	12%	3%
教職員	29%	71%	0%	0%

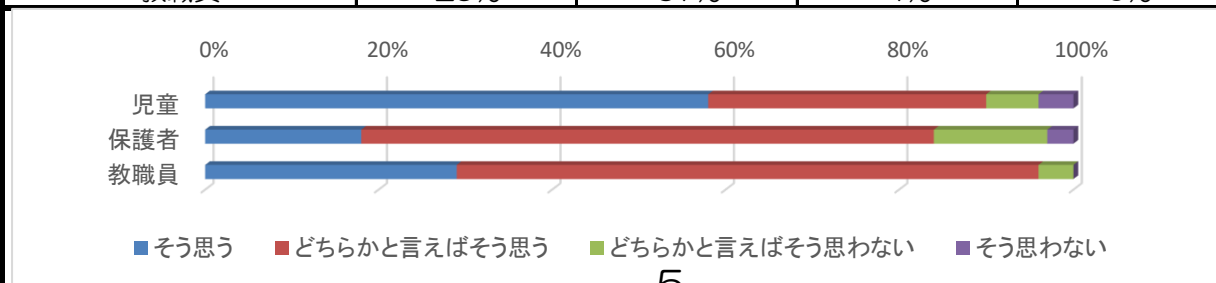
###



⑰【保護者】【教職員】学校行事は子供たちが夢中になれる特色のある行事となっている。
 【児童】いろいろな行事に向かって、目標をもって頑張っている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	58%	32%	6%	4%
保護者	18%	66%	13%	3%
教職員	29%	67%	4%	0%

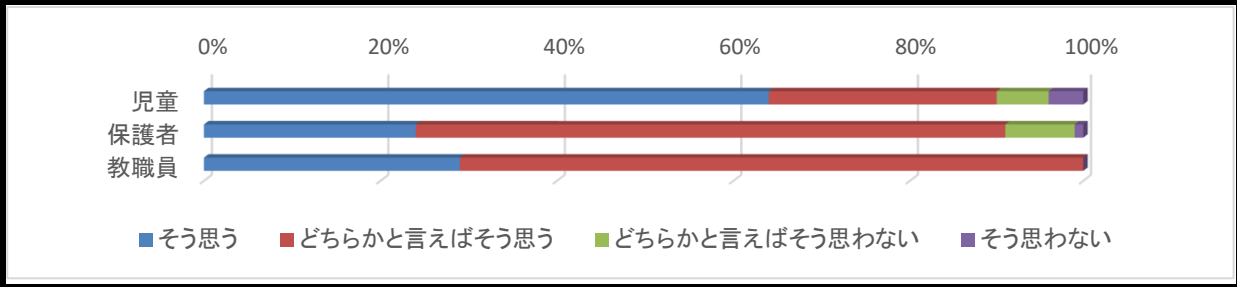
###



⑱【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全に過ごすことができる。
 【児童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	64%	26%	6%	4%
保護者	24%	67%	8%	1%
教職員	29%	71%	0%	0%

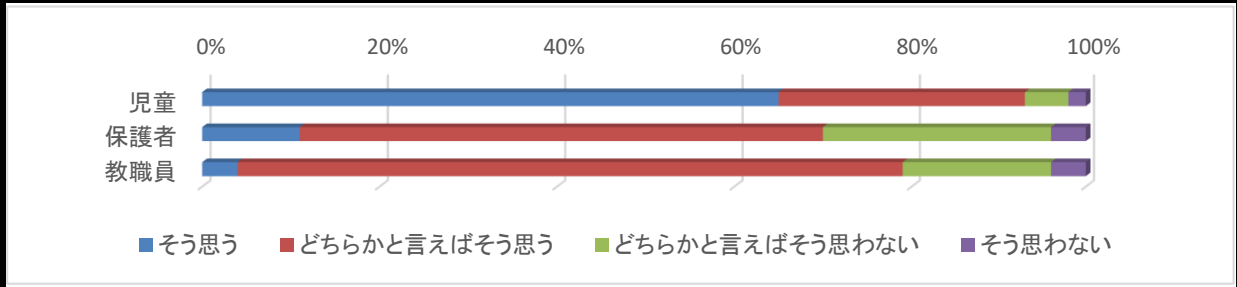
###



⑲【保護者】【教職員】子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と正しい行動をとることができる。
 【子供】緊急事態が起きたときに、自分の命を守るため、どうすればよいか考えたり、行動したりすることができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	65%	28%	5%	2%
保護者	11%	59%	26%	4%
教職員	4%	75%	17%	4%

###



考 察

設問⑭「自分を仲間を大切にしている子」を意識して生活しているについては、児童・保護者・教職員の3者ともに高い数値となりました。今年度の重点目標を意識し、子供たちは友達を思いやり、優しい気持ちで接することができる場面が多いと感じています。また、高学年が低学年に対して、優しい声掛けを行ったり、困っている場面で手を差し伸べている場面も見られます。ただし、保護者の方の意見にもありましたが、友達に対する呼び捨てや乱暴な物言いも所々で見られます。仲間を大切にすることは、言葉遣いの面においても大切だということを生活の様々な場面で話をしていくようにしていきます。

設問⑩、設問⑱においては、主に保護者の方からの評価が昨年度に比べて大きく上がりました。今年度は、コロナウイルスの制限が緩和されたこともあって、授業参観や運動会についても、コロナ前に近い状況で実施することができたこともあり、子供たちの学校の様子がよく分かったという意見もいただきました。新型コロナウイルスについては、まだまだ油断のならない状況ではありますが、なるべく多くの情報を分かりやすく保護者の皆様にお伝えし、子供たちが不安なく学校生活を送れるようにしていきます。

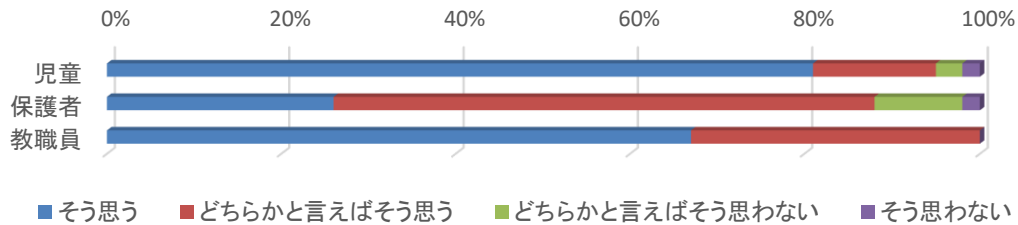
学校の施設整備については、6月にPTA奉仕作業が実施され、プール清掃や校舎内外のトイレ清掃、校庭周りの清掃等を行っていただきました。どの場所も見違えるようにきれいになり、子供たちが気持ちよく使用することができました。また、7月からは体育館の改修工事が始まり、来年1月まで体育館の使用ができなくなっています。体育の授業や行事等で、子供たちには迷惑を掛けてしまっていますが、2月にきれいな体育館を使えることを楽しみに教育活動を行っていきます。

4 コミュニティスクール、小中一貫について

⑳ 地域の皆様や団体の方が子供たちや学校の教育活動に関わることは
 【保護者】【教職員】子供たちにとってよい効果が表れている。
 【児童】あなたにとってよいことですか。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	81%	14%	3%	2%
保護者	26%	62%	10%	2%
教職員	67%	33%	0%	0%

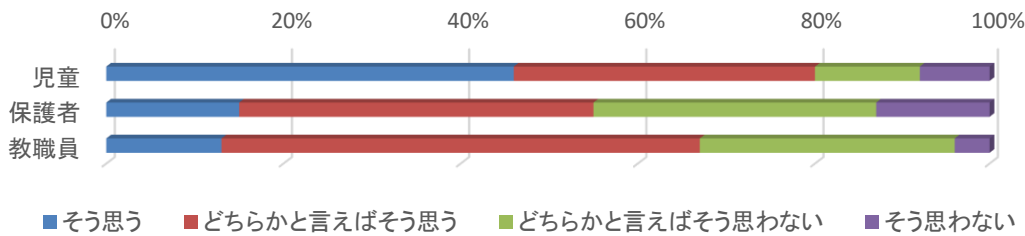
 ###
 ###



㉑ 【教職員】子供たちは、三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているノーメディア週間を意識して取り組んでいる。
 【児童】三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているノーメディア週間を意識して取り組んでいる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	46%	34%	12%	8%
保護者	15%	40%	32%	13%
教職員	13%	54%	29%	4%

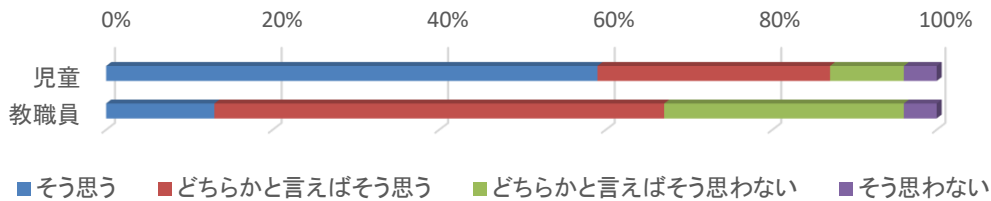
 ###
 ###



㉒ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。
 【教職員】子供は、明るいあいさつができています。
 【児童】明るいあいさつができています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	59%	28%	9%	4%
教職員	13%	54%	29%	4%

 ###



⑳ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。

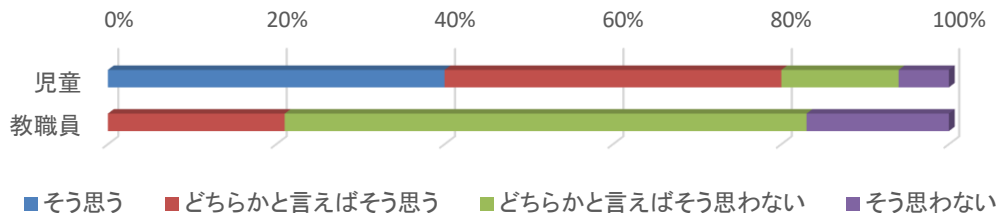
【教職員】子供は、きれいな学校にむけて、黙動清掃ができています。

【児童】きれいな学校にむけて、黙って掃除ができています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	40%	40%	14%	6%
教職員	0%	21%	62%	17%

###

###



㉑ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。

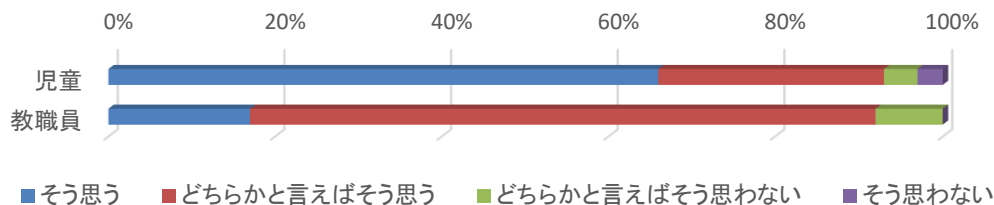
【教職員】子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、縦割り活動を通して仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。

【児童】友達の気持ちを考えたり、縦割り活動等を通してみんなと楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	66%	27%	4%	3%
教職員	17%	75%	8%	0%

###

###



考 察

本年度はCS（コミュニティスクール）5年目となります。子供たちの登下校の見守りや遠足の引率、園芸や学習のお手伝いなど、様々な場面で地域の方のお力をお借りしながら教育活動を進めています。今年度は、コロナの制限も少なくなり地域の方にボランティアとして協力をお願いする機会もまた増えてきました。設問⑳の児童による評価の高さからからも、子供たちが地域の皆様に支えられて安心安全に充実した学校生活を送れていることが分かります。今後も、CSディレクターを中心に、CSボランティアの輪が広がり学校と地域の皆様とのつながりが広がっていくことで、地域に開かれた学校を目指してまいります。

設問㉑は、ノーメディアデーの取組についてですが、児童の評価と保護者・教職員の評価に乖離が見られます。子供たちはある程度意識していると思っておりますが、大人の評価はまだ不十分ようです。ノーメディアデーは鷹岡中学校区3校（鷹岡中・鷹岡小・天間小）で、子供たちの心身の健康や正しい生活習慣の定着を目指して取り組んでいるものです。学校でも引き続き、声掛けを行いますがお家庭での協力もよろしくお願いいたします。

設問㉒㉓㉔は鷹岡小スリースターについてです。子供たちにとってスリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）の目標が身近なものになってきていることが評価から分かります。その中で、「明るいあいさつ」「絆を深める」に比べて「きれいな学校」に関する項目が若干低くなっています。設問㉔「きれいな学校にむけて、黙って清掃ができています」に関してはまだ十分にできていない児童がいます。15分間、一言も話さずに集中して清掃を行うことは簡単なことではありませんが、みんなが過ごしやすい学校にしようという意識を高めることで集中して清掃を行うことができると思われます。子供たちも、教員も把握している課題なので、子供たちと話し合いながら改善できるようにしていきます。

5 保護者の皆様からのご意見、ご質問、ご要望について

先生が宿題にコメントを書いてくれることで子供がやる気になったり、本読みカードに学校での様子を書いてくださるので親も話のきっかけになり、とてもありがたいです。多忙の中、いつもありがとうございます。

学級担任の休み時間は、宿題のチェック・丸付け、次の授業の準備、子供からの相談の対応等、やるべきことがたくさんありますが、どの学級担任もなるべく子供や保護者の方から提出された宿題や提出物を丁寧に見て返事をしようと心掛けています。ただ、どうしても時間が足らず十分なコメントなどできない場合もありますが、そのような時でも子供への前向きな声掛けや保護者の方への電話等による必要な連絡は欠かさないようにしていきます。学級担任への温かいコメントをありがとうございました。

暑い日が続いていますが、だからといって外遊びはダメ、では思い切り体を動かしたい子にとってどうでしょうか？熱中症の心配も分かりますが、充分話をし、本人たちも自覚していればよいのかなと思ったりしています。

学校では、富士市小中学校熱中症予防対策ガイドラインを踏まえ、暑さ指数（BMGT）が31「危険」以上になった日には、外での遊びを中止にしています。31以下の日（28以上は「嚴重警戒」）でも、湿度が高く日差しの強い日には校内で判断し、中止にすることもあります。中止にする際は、教員が運動場に出て状態を確認し、管理職や養護教諭と相談をして決めています。子供たちの外遊びをしたいという気持ちは十分にくみ取りますが、それでも命の危険があると判断した場合は中止としています。このことは、担任から子供たちに伝えていきます。中止になった時は、子供たちは残念そうにしていますが、多くの子供は教師の話を理解をしてくれています。今後も、子供たちの命を守ることを最優先にしつつも、子供たちの思いにも寄り添って話をしていくように心掛けていきます。

タブレットを毎日持ち帰らせるのはやめてほしいです。タブレットを使う宿題があるのかと思いきや何もなくまた学校に持っていきだけ。荷物を軽量化する傾向にあったのに非常に重くて大変で子供たちがががかわいそうです。毎日登下校に背負うランドセルは大人が持っても非常に重いです。遠くまで歩く子も少なくないです。充電を家庭で、とのことならその時だけ持ち帰らせてください。

登下校においてランドセルが重く、負担と感じている子供がいる現状があることは把握しております。したがって、児童の発達段階に応じて、学年ごとにタブレットの持ち帰りについては検討して負担が少ない形をとっています。特に体の小さい低学年の子供にとっては、負担となることが予想されるので、タブレットの持ち帰りには今後も注意をしていきます。どうしても、宿題等の関係で家庭にタブレットを持ち帰る場合は、他の教科書を学校に置いていく等、ランドセルが重くなりすぎないように配慮をしていきたいと思っております。

※その他、保護者の皆様からたくさんの御意見や御要望をいただきました。各部会や職員会議などで検討をしています。後期から取り組むべきことは早速取り組み、今後の教育活動への指針となる御意見については、検討の上、来年度の教育課程へ生かしていきたいと考えています。ありがとうございました。